

三矢の儀式



三矢の儀式の由来

三矢の儀式は猪名川町民田地区の民田八幡神社で、毎年1月6日に新年と氏子の長男の元服(成人)を祝う伝統行事です。平成23年には猪名川町無形民俗文化財に指定されました。年頭に悪霊邪気を鎮める行事として、江戸時代初期から約400年以上にわたって行われており、地域では馴染み深い行事として知られています。

台風による倒木の影響で、2年続けて儀式は中止となりましたが、町内外から多くの支援が寄せられ、令和2年は待望の復活となりました。



三矢の儀式の内容

儀式では、各戸の家長が民田八幡神社に集まり、無病息災のお祓いや頭渡し(相頭から初頭への引き継ぎ)の盃事や謡のあと、参拝者にこべら餅がふるまわれます。

続いて、烏帽子と直垂で正装した親が、子から手渡された3本の矢のうち2本は裏に「鬼」と書かれたひし形的に向かって射り、最後の1本はその年の恵方の空へと放ちます。

射ぬかれたのは初頭の子が担いで自宅に持ち帰り、豊作と無病息災の象徴として家の屋根に1年間祀られます。

儀式に関連する用語など

用語	意味
元服(げんぷく)	奈良時代以降、男子が成人したことを示す儀式
初頭(ういとう)	当年度に元服を迎えた者とその親
相頭(あいとう)	前年度に元服を迎えた者とその親
氏子(うじこ)	その地域(集落)の氏神を信仰する人々
こべら餅(もち)	薄く伸ばした円型の餅。できもの、腫れ物の皮膚病に特効があるとされる
烏帽子(えぼし)	平安時代から近代にかけ和装での礼服装着の際に用いられる帽子
直垂(ひたたれ)	主に武家社会で用いられた男性用の装束

三矢の儀式

[日時] 1月6日
10:00~12:00
[場所] 民田八幡神社

〒666-0232 兵庫県川辺郡猪名川町民田字宮前 233



保存団体

三矢の儀式保存会(民田自治会)

代表 谷 清さん

裏面に谷さんのインタビュー記事を掲載しています

保存会代表インタビュー

三矢の儀式保存会(民田自治会)
代表 谷清さん

2度の自然災害を乗り越えて3年ぶりに復活

平成29年の台風で境内のヒノキが折れて本殿を覆う建物の屋根を直撃しました。そして、平成30年にはまた別の台風で杉の木も倒れ拝殿の屋根が損壊。思いもよらぬ形で2年連続の中止を余儀なくされました。

その際、民田八幡神社の氏子の方々をはじめ町内外の支援者、さらには猪名川甲英高等学院の生徒さんが街頭募金に立ってくれるなどして、たくさんの募金が集まりました。2度の台風被害に遭い多くの人が心を痛めました。寄付していただいた方々の思いに応えるためにも「何とか復活させよう!」という一心で頑張ってきましたので、3年ぶりに復活できたことは本当に嬉しく思っています。



猪名川甲英高等学院さんの心強い支えに感謝

本来、元服(15歳)を迎える若者が行う儀式ですが、民田地区に若者がいないため、50代~60代の氏子が代役を務め行事を継続するという状態が続いていました。

また、民田地区以外ではこの三矢の儀式というものが知られていないというも現状です。阿古谷小学校が閉校になった後、阿古谷地区に猪名川甲英高等学院さんが来ていただいて、今回は生徒の皆さんが儀式の看板制作から携わってくれ、当日も子役として参加してくれました。

1度目の寄付集めの街頭募金から、当日の子役まで引き受けていただいたことは非常に感謝しています。



地域の絆を深める行事を若者たちと共に支えていきたい

民田地区は氏子15軒の小さな集落で、地域に後継者がいないことが一番の課題です。三矢の儀式は新年を迎えて初めて地域の方が集まる機会となり、地域の方の絆を深めて連帯を強める行事でもあります。

今回、近隣の猪名川甲英高等学院さんのご協力を得られたことは、私たち民田地区の氏子としても大変心強いことですし、今後も共に頑張って传承していきたいと思っています。



三矢の儀式に参加した生徒たち

Q 行事に参加した感想は?

A 今回が復活の一回目というプレッシャーと、400年も続く伝統的な行事なのでしっかりしないといけないという緊張感がありました。

Q 看板制作にあたり大変だったことはありますか?

A 自分から意見を出して、どのようなものかを考えていくのは大変でしたが、様々な話し合いをする中で地域の方の優しさに触れることができ安心しました。



阪神北ふるさと文化の传承事業の概要

兵庫県阪神北県民局では、地域の伝統文化を次世代に传承し、住民のふるさと意識を高めるため、平成29年度からこの事業に取り組んでいます。

—コメント—

田辺真人 審査委員長
(園田学園女子大学名誉教授)

古来、元服の儀式として除災招福を祈る民田の三矢は、今、地域と若者の新しい絆を生みながら传承されている貴重な民俗文化です。



発行/兵庫県阪神北県民局
問合せ先/同県民交流室地域振興課
TEL 0797-83-3133
版下制作/デザインオフィス・イコールライツ

兵庫県ホームページにて
三矢の儀式の動画記録や
詳細なインタビュー記事などを
公開しています。



「阪神北地域のふるさと文化」：①ケトロンまつり ②安倉音頭 ③六斎念仏〜ひつつんつん〜 ④波豆川のお練り ⑤三矢の儀式